令和７年度
スクール・エンパワーメント推進事業　取組み成果リーフレット

# テーマ：端末は「思考を広げる」文房具

情報活用能力をはぐくむモデル校
岸和田立城東小学校

## つけたい力

・問題を発見する力
・目的に応じて情報を収集・整理し、表現する力

## 取組みの概要・ポイント

・低学年からの系統的な情報活用能力の育成
・教科の中で端末を「考える道具」にする

## 具体的な取組みの内容：系統的な情報活用能力の育成

### 低学年
### 情報機器の操作スキル習得

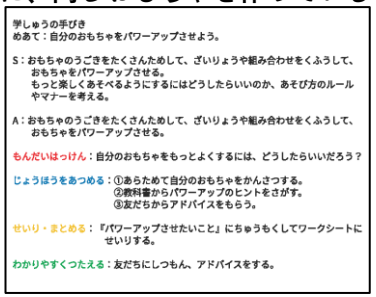
情報機器の基本操作

〇タイピングスキルを１年生から育成

ホームポジションと反復練習

学び方を知る

〇他者参照しながら学習を進める（共有ノート）
ロイロノート(共有ノート)を使って、自分のおもちゃをパワーアップさせるために、同じおもちゃを作っている児童の考えを参照する




〇学習過程の意識
２年生　生活科
「つくって　ためして」
・手引きを見ながら学習を進める。
・自力で教科書読解
→必要な情報を集める
おもちゃをパワーアップさせるための工夫
「早くすすめるには輪ゴムをたくさんまく」（児童の意見）

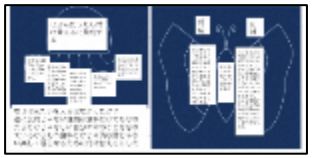
### 中学年
### スキルを学びに溶け込ませる

学習をより効果的に

〇ワークシートに実験の写真を添付
→結果を書き込む
〇共同編集
３年生　理科「音」
実験のまとめをワークシートにまとめていく

学び方を選択する

４年生「先人のはたらきについて考えよう」
〇自分で学び方を選択する
・思考ツールの選択
・学ぶ人数の選択
→　適正人数の指導
・情報媒体の選択
→　図書・教科書・ネットの中から選択



〇学習方法と学習内容のふりかえり　（児童のふりかえりより）
「バタフライチャートは、賛成・反対の意見をまとめやすかった（学習方法）」
「洪水に苦しむ人々がいたが、付け替えて困る人もいるということが分かった（学習内容）」

### 高学年
### 学びを深める情報活用能力

情報活用能力を発揮させる

５年生「和の文化を発信しよう」
〇共同編集
・同じ考えの人とリーフレットを作成
〇学習過程の共有
・他の子の進捗をGoogleスライドでいつでも見られるようにする

学び方を自分で考える

６年生「発信しよう、私たちのSDGｓ」
〇学習方法の選択
・人数＋誰と学ぶか
→同じ考えの人と学ぶ
〇学習過程の選択
→信憑性のある情報を集める
→情報の見せ方を考える
→伝え方を考える
〇ふりかえり（児童のふりかえりより）

「正しい情報なのかの確認に時間がかかった。」
「レイアウトは〇〇さんのを参考にした。」

## 取組みを通しての子どもの変容

児童アンケート:「学習のときに自分でめあてや問題を考えている」　昨年度末　74%→今年度(12月)　82%
児童アンケート:「分からないことを自分で調べようとしている」　昨年度末　81%→今年度(12月)　97%
職員の声：　児童が学習以外の場面でも順序だてて物事を考えている。 話を聞くときに要点を考えて聞いている児童が増えた。

詳しくは学校HPをご覧ください⇒